



でんき講座

7月
VOL.37

自然災害 ～雷編～

空が灰色の雲で覆われ、ゴロゴロ…と聞こえてきたら、雷に注意！
落雷被害を避けるための方法をご紹介します。



○? ×? チェック 雷から身を守るための対処法

「木の下は安全」「金属を身に着けていると雷が落ちる」など、落雷にまつわる数々の情報。実は両方とも間違っています！雷から身を守るため、正しい知識を身に付けましょう。

○ 高く尖った物には落雷しやすい

二人で並んで歩き、片方だけが傘を差している場合、傘を差している人に落雷します。(絶縁されたプラスチックの柄でも同様)

○ 車の中や電車の中は安全

車や電車の中は周りを金属に囲まれているので比較的安全です。
※屋根が金属ではなく、幌で覆われたオープンカーは落雷のおそれがあります。

× 金属を身に着けていると落雷しやすい

雷は金属の有無に関係なく人間に落ちる可能性があります。金属が体から上に出っ張っていない限り、無関係です。

○ 近くで落雷があったときできるだけ地面と接触しない

落雷地点の近くにおいて、体が地面と接触していた場合、その部分がしびれたり、火傷したりする危険があります。

× 高い樹木の下は安全

木に近すぎるとかえって危険です。幹、枝や葉からも4m以上は離れましょう。

○ 家屋の軒先での雨宿り 屋内の壁や柱のそばは危険

雷(電流)が物体の中を流れるとき、表面の方に多く流れ、中心部は少なくなります。軒先や柱・壁のそばは危険です。

- 当協会を名乗り、電話勧誘・訪問を行った末、点検料を請求するなど、悪質な事案が発生しています。不審な訪問販売やセールス電話には十分にご注意ください。
- 九州電気保安協会は のマークの職員証を付けた作業服を着用しています。

電気に関するご相談は、最寄りの事業所またはホームページでお受けしています。

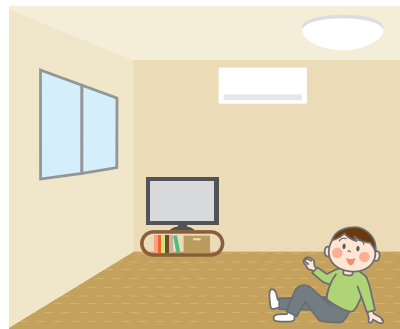
<https://www.kyushu-qdh.jp> 九州電気保安協会 検索



家の中でも油断禁物！

家の中にも、落雷の被害に遭う可能性があります。雷が鳴り出したら、感電防止のため以下の3つのポイントに気をつけましょう。

- ①電源線や電話線、屋外アンテナから落雷電流が屋内へ入ってくる
ことがあるので、電気製品からは1メートル以上は離れましょう。
- ②また、窓や壁、柱などからも1メートル以上離れ、
部屋の中央部にいるようにしましょう。
- ③水道管や排水管が金属性の場合は、水を使う入浴や洗濯、
炊事などはやめて、水まわりには近づかないようにしましょう。



雷から電気製品を守ろう

雷がゴロゴロ鳴り出したら、万一来て備えてコンセントから電気製品の電源プラグを抜きましょう！
また、日ごろから落雷対策グッズを設置しておけば、いざというときに慌てる心配がありません。



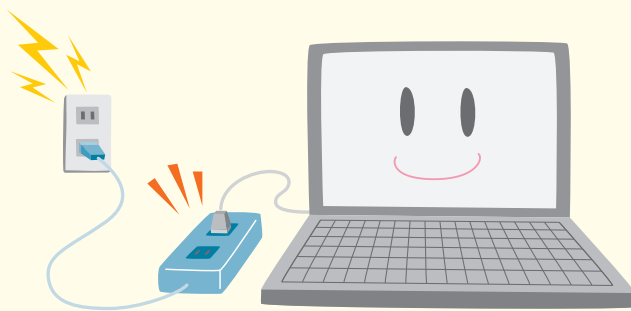
備えて安心！！ 落雷対策グッズ



ほあんくん

雷ガード付き電源タップ

近くに雷が落ちて電線や通信線に異常が起これると、電気製品が壊れる場合があります。電気製品を雷から守るには、コンセントからプラグを抜くのはもちろん、日ごろから雷ガード付きの電源タップを使うとより安心です。



無停電電源装置(UPS)

落雷によって停電が発生すると、コンピュータ機器などのデータが消失したり、トラブルが発生したりすることがあります。大事なデータを守るために無停電電源装置(UPS)を活用すると安心！停電などで電源に異常が発生しても、一定時間は電力の供給を続けます。テーブルタップ型は小型軽量なためご家庭でも使いやすく、簡単に電源のバックアップを行うことが可能です。

